



【写真 44】

1933 年代後半のマルタ・ムージル

るオーストリア侵攻まで、印刷所にまわされてからもくりかえし修正された。しかしこれをムージルは最終的に撤回した。その年の夏、ローベルトとマルタは亡命の途についた。

《わたしはそんな男ではありません。欠陥を修正するくらいなら、ぜんぶ破棄してしまいま

す。》

(A 364)

結局のところ、一見とどまるところを知らなかった国家社会主義者の勝利につく勝利が、晩年にいたってもテキストを完成させず、あらたな異稿を生産しつづけた最大の理由なのだろう。作家ムージルは歴史に追い越されたことを知った。「正確さ／厳密さ」(M II/1/58, MoE 1937)を追求するという反時代的な情熱で、彼がいまだに一九一四年の戦争勃発を洗いなおしていたころ、すでにモデルネは、その破局を再現する方向に舵を切っていた。ムージルの長編小説は、構成的ユートピアによって破局の再現阻止に寄与するはずだったのだが、この本は、書き進めているあいだにいつのまにか歴史小説になった。なにせ舞台は二五年前なのだ！ それは、過去のできごとをもとに展開され